

北海道新顔野菜「なす」の隔離床養液栽培と環境制御技術による産地形成

概要 Abstract

土壌病害に弱いなすを隔離床養液栽培で作ると、なんと！儲かる作物に！！

隔離床養液栽培は環境制御技術との相性抜群！！

北海道では認知度の低いなすをPRし販路を拡大、生産者・作付け面積も急増中！！



成果 Results

①抱えていた問題点を隔離床養液栽培で一発解決！！



土壌病害「半身萎凋病」が猛威を奮う！

技術導入

一発解決！



隔離床養液栽培(ヤシ殻培地)

②環境制御技術の導入率100%！！



安価な環境制御機器の導入(既存品の半額以下)

部会全員がかん水方法を変え、収量は倍増！手取りも増えた！！



③儲かる作物で部会設立！生産拡大！！ このツヤ！！この迫力！！

100坪ハウス3棟を想定した導入費用試算

	導入費用 (円)	減価償却費 (円/年)
栽培バック	348,300	69,660
肥料	371,400	-
環境制御資材	631,510	126,302
自動巻上資材	407,820	58,260
自動かん水資材	713,770	120,076
CO ₂ 施用機	947,880	135,412
加温機	1,197,000	171,000
合計	4,617,680	680,710

※肥料は隔離床養液栽培に使用可能な種類で試算

製品収量：8～12t/10a
 単価：350～400円/kg
 粗収益：3,750,000円前後/10a
 環境制御+隔離床養液の減価償却費割合：15～25%
 所得：2,697,890円/10a
 (粗収益-肥料費-減価償却費)



普及 Dissemination

導入戸数、面積拡大後の栽培技術支援
 関連団体と道央環境制御研究会の運営支援

連絡先 Contact

石狩振興局
 石狩農業改良普及センター
 0123-36-8083
 lshinannokai.11@hokkaido.lg.jp